模擬試験が終わって、よく聞かれるのが「何点だった?」と言い合う声。中には人の点数を聞くことに躍起になっている人もチラホラ。そんな学生さんを見ると、私の顔色は曇りがちになってしまいます。なぜなら「人の点数を知りたい」という行為には、せっかくの試験成果を台無しにしてしまう危険な落とし穴があるからです。その危険な落とし穴とは、「自分よりも点数の低い人を探すこと」です。

模擬試験の季節(?)ですが…

模擬試験、生かすも殺すもあなた次第!

100点満点で50点だった。「こんな点数でいいのか?」という不安が心をよぎる。そこで隣の人に「君、何点?」と聞いたところ「45点」。「50点という点数は不安だったけど、私よりも下の人がいるから安心」と逃げ込むことができるという寸法。隣の人が「60点」と答えた日には、他の人間にも点数を聞きまくる。もちろん、自分より点数の低い人が見つかるまで……。

残念ながら、そんなことをやっている限り、合格への道のは非常に険しいと言わざるを得ません。自分の点数を、現在の学力の指標として捉えず、その場限りの安心感を得るためだけにないがしろにする人に、何で学力向上が望めるのでしょうか?。

大切なのは「自分がその点数をどう捉えるか」ということです。あなたの点数はあなたがしっかりと受け止めるだけのことで、そこに他人が入り込む余地はないのです。

よく「友達より点数が低かったら『悔しい』という気持ちが沸いてきて、勉強に励むようになるじゃないですか」という人がいます。では、友達より点数が低くないと勉強しないんですか?。友達よりも点数が良ければ、それで満足して終わりですか?。友達の点数など関係なく勉強しなければならぬじゃないですか、

国家試験合格へ向けて。「でも、上を目指すことはいいことなんじゃないですか?」。もちろん、上を目指すことはいいことですよ。「友達より上」ではなく「今の自分より上」

を目指すことは……。

第一「『悔しい』という気持ちが沸いてきて、勉強に励むようになる」(これは私が最も嫌いな理屈。イヤ、屁理屈なんです)と言いますが、本当に友達と比べて点数が低かったら、悔しいという気持ちが沸いてきて勉強しますかね?。私が知る限り、そう言っている人のほとんどが“勉強に励む”のではなく、“自分より点数の低い人を探しまくっている”ような気がしますが。「人と比べて悔しい、悔しくない」で勉強の舵取りをする。その時点で国家試験対策として誤っているのではないのでしょうか?。私は、模擬試験では良い点

平均点は“見取り図” 間違い、分からないをチェックしてなんぼ

ほとんどの人は平均点と見比べて、成績の良し悪しを判断すると思います。しかし、これも気をつけないと。「平均点より良いから大丈夫だ」は「他人の点数」を「平均点」に置き換えただけで、やっていることは先ほどと変わりありません。確かに平均点は、模擬試験から得られる非常に有益な情報の1つです。ただ、平均点には人数はもちろんのこと、試験の難易度、受験時期など、様々な要因が絡んできます。そういったことも含めて、平均点から学生さんの真の学力状況を読みとることも、われわれ講師の大切な仕事なのですが、学生さんが平均点からそこまでの情報を読み取ることは正直難しいでしょう。ですから、「平均点より良いから大丈夫」ではなく「この試験はできたと思ったけど、平均点よりやや低い。思っているほど学習状況は良好ではなさそう。基礎的な部分を見直さなきゃいけない。ペースも少し上げて……」というのが皆さんができる、平均点からの一番良い導き方でしょう。平均点は、あくまでも“見取り図”であって設計図ではないのです。そののところに気をつけて、平均点を生かしてください。見取り図だけでは家は建たないことをお忘れなく。

薬塾の学習指導

数を取りながら国家試験に落ちた人を、それこそ数知れないくらい見てきました。そのほとんどが「良い点数に満足して、足元をすくわれた人」です。「友達の誰よりも良い点数」に満足してしまい、今の自分の学力と向かい合わずに勉強を疎かにした結果」としか言いようがありません。「悔しさをバネにして」なんていう、漫画の主人公が喋っているようなカッコ良い言葉で乗り切れるほど、国家試験対策は甘いものではないのです。確かに「悔しさ云々」で勉強を進めていく方法もなくはありません。しかしそれは、誰かがある程度管理している状況下でなければ成果が得られない、非常に難しい勉強方法なのです。そういった状況下にはない人が、悔しいか・悔しくないか、友達よりも良い点数かどうかだけで勉強の舵を取ることは危険なことなのです。

模擬試験結果というと、どうも学生さんは点数ばかりに目が行きがちですが、そこから得られる情報は、点数以外にも無数にあります。何とんでも一番有益な情報は「どの問題ができなかったのか?」という情報。「その問題に対して、あなたはどうかだったのですか?」という情報こそが、“点数よりも優先されるべき結果”なのです。模擬試験結果は、今のあなたの学力を反映しています。間違った問題・分からなかった問題は、国家試験対策におけるあなたのウイークポイントなのです。それを1つひとつ潰していくことが、学力向上への一番の近道なのです。そういう意味からしても「良かった・悪かった」と点数ばかりに気をとられ、間違えた問題・分からなかった問題を見直さないことが、いかに本末転倒のことであるか、お分かりいただけると思います。「模擬試験は受けてなんぼのもの」ではなく「間違えた問題・分からなかった問題をチェックしてなんぼのもの」なのです。模擬試験では“間違えた・分からなかった”という結果の方が、最優先される結果であることを、しっかりと認識してください。もっとも、皆さんにとっては“あまり優先したくない結果”なのかもしれませんが……。

私たちは、ワタキューグループの一員です。

フロンティアは全国に136店舗の調剤薬局を展開しております。

「心」を社是とする医療、福祉、健康関連企業であるワタキューグループの一員として、調剤だけでなく、栄養相談、居宅支援まで患者様のニーズに幅広く応える「トータルケア」を基本に、心温まる薬局サービスを目指しています。

患者様に信頼される薬のスペシャリストとして、フロンティアでともに学び、成長し、私たちと一緒に新時代の薬局を築いていきませんか。

全国136店舗・関西64店舗
(2008年8月現在)

私たちと一緒に働きませんか?

新卒 中途

薬剤師募集中!

採用フリーダイヤル **0120-89-7060**

ホームページ <http://www.frontier-ph.com>

株式会社フロンティア

ワタキュー薬局 フレンド薬局 ワタキューフジタ薬局 フォレスト薬局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪MTビル2号館14階
TEL 06-6396-8100 FAX 06-6396-8101 E-MAIL soumu@frontier-web.jp